

運送業界の健康支援を生きがいに

199 コロナのガイドライン第3版

今年のお正月はコロナ感染の谷間で、昨年できなかったお里帰りなど、楽しく過ごされた方も多いのではないのでしょうか。とはいっても再びオミクロン株の襲撃が始まっています。コロナウイルスとの闘い(共存)がまだまだ続く中、感染拡大を防ぐためにはやはり私たち一人ひとりの感染予防行動にかかっています。せっかく戻りつつある社会活動を停滞させないためにも、日々の手洗い・消毒、そして三密回避を徹底しましょう。

■全ト協から第3版ガイドライン

昨年12月、全ト協のホームページにて、「トラックにおける新型コロナウイルス



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 **作本 貞子**

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

ス感染予防対策ガイドライン」第3版がアップされました。そして、年末には同ガイドラインを分かりやすく解説した対策マニュアル&概要版も続いてアップされています。第2版と大きく異なるのは、ガイドラインにも新たなチェックリストが入っている点です。
3度目のワクチン接種、そしていよいよ服薬による治療もスタートします。再び感染拡大と暗い話ばかりではなく、トンネルの出口から光が射してきたようにも思います。第3版のガイドラインやマニュアルを活用して、従業員への再教

育やメッセージとして、ぜひ活用なさってください。

■SASと運輸ヘルスケアナビシステムの両輪で
今年のOCHISは、睡眠時無呼吸症候群(SAS)と運輸ヘルスケアナビシステムとの両輪を目指しています。しかし、今年に目指す両輪とは、「両方とも重要、どちらもしっかりと活用しましょう」の両輪とは少し異なり、これらの保有データを駆使して、「事故や病気の予兆管理」まで行うことのできる手法を意味します。

ただし、「言うは易し、行なうは難し」で、あくまでも今は、模索とチャレンジの段階ですが、一歩ずつ地道に進めていきたいと思えます(これが私自身の新年の目標といえるかもしれませんね)。

本年も運輸業界の安全と健康に向けて微力ながらも努めてまいりますので、皆様よろしくお願いいたします。

(次回は2月14日号に掲載)